

赤間地区コミュニティだより

話・和・輪

第7号

平成18年4月1日

発行/ 赤間地区コミュニティ運営協議会広報委員会
TEL・FAX/ 0940-32-5640
印刷/ 企画 萌
TEL 0940-32-5662

http://wawawa.org

赤間・マツタケ・新開一丁目・石が・御重・腰越寺・三郎丸回地
美台・田久・栄町
萩町・第一丁目・萩町・名山・藤山・名残・富地原・名残
五丁目・広陵台五丁目・広陵台四丁目・広陵台三丁目・広陵台二丁目

コミュニティづくりは

一万四千人、一人一人のあなたが主人公です

三年間、青少年問題、環境、福祉、公民館活動やまちづくりで活動してきました

宗像市は、市内を十三カ所（大島地区は準備中）に分け、住民が主体的にまちづくりを進めるため重要な施策の一つとして、コミュニティ運営協議会を組織しています。

赤間地区では赤間小学校校区を範囲として、平成十五年十月に「赤間地区まちづくり推進協議会」から発展して「赤間地区コミュニティ運営協議会」が発足しました。この赤間地区コミュニティ運営協議会は、十九の自治区が参加し人口約一万四千人、世帯数は約六千世帯という市内では大きなコミュニティ運営協議会です。

赤間地区コミュニティ運営協議会は、市からの委託金や補助金を受け、五つの部会を中心に活動を進めてきました（平成十五〜十七年）。さらに平成十七年度は赤間地区区長会が、田久地区の浸水問題、赤間小学校の通学路である県道の歩道整備や赤間構口の信号機設置等と関係機関に要望してきました。

二面で紹介していますように、区長会が赤間地区全体のまちづくりの課題に対して関



わってききました。

平成十八年度から、コミュニティ運営協議会の役割はさらに大きくなります。今までは市が直接各自治会に出していた補助金等（防犯街灯設置費補助金・公園愛護活動補助金・道路クリーン活動補助金・分別排出協力交付金・一斉清掃等の事務事業・区長報酬）は、コミュニティ運営協議会を通じて（敬老会の補助金は高齢者対策事業費として）各自治会に補助することになります。

平成十八年度に、赤間地区のコミュニティ・センターが建設されます

現在赤間地区コミュニティ運営協議会は、赤間区公民館において業務を進めています。平成十八年二月からコミュニティ・センター用地の造成工事も始まり、平成十八年度にはセンターが建設される予定です。このコミュニティ・センターを赤間地区十九自治区のみなさんの活動拠点にしていきたいと考えます。

しかし、同時に、市からの委託金や補助金・交付金をどのように活用するか、各部会の活動や各種団体との関わり、大道芸まつりや赤間宿まつり等のイベント推進、センターの管理等、まちづくりそのものを私たち赤間地区住民に委ねられるところが増えてきます。

また、センターが建設されますとコミュニティ活動が本格化することに伴い一世帯年間三百六十円の負担金があります。コミュニティ運営協議



赤間地区コミュニティ運営協議会総会

会の運営や活動を住民のみなさんに、より一層分かりやすくしなければなりません。

今後、赤間地区コミュニティ運営協議会が、住民のみなさんに役立つものに発展するかどうかは、住民のみなさん一人一人が「まちづくりの主力」として関わることが重要です。これからも、たくさんのみなさんの参加とご意見をいただきますようお願いいたします。

みなさんの声を受けて 赤間地区コミュニティの区長会が要望しました。その後、

田久地区浸水対策におけるその後の経過について

この問題につきましては、「話・和・輪」の第六号でお知らせしてありましたが、その後、田久区長をはじめ関係者のご努力によりまして、昨年の十二月二十八日に田久浸水対策連絡協議会が設立されました。

協議会のメンバーは、県土木部、建築都市部関係課長、宗像土木事務所所長及び市からは助役が参加することになりました。

今後、この協議会を中心にして、部会、地元代表者等相互に情報提供、意見交換等が行われることになっております。これに関連しまして、本年二月四日、地元出身の渡辺衆議院議員をはじめ、山田県議会議員、市の谷井助役、平川市議会

議長、市の関係部長、課長等多数の方々にお越しいただき現地調査を実施いたしました。

非常に寒い日ではありましたが、田久区長、被害者の会の方々の説明があり、その後、田久公民館で被害者の会の方々をまじえて座談会を開催いたしました。その中で、渡辺議員から、国の予算が厳しい時代ではあるが、こと人命に関する問題については、優先して解決していかなければならないと力強いお話がありました。



県道町川原・赤間線の道路及び歩道整備におけるその後の経過について

赤間地区コミュニティだより「話・和・輪」(第八号)でお知らせしてありましたこの問題につきましては、昨年区長会から関係機関に要望書を提出してありましたが、その後、十二月五日に赤間公民館におきまして、県土木事務所から区長会および関係者に対して説明会が行われました。

それによりますと、本年の三月末までに測量を終わらせ、四月から設計に取りかかることが決まりました。前号でもお知らせしておりますとおり、この道路は車の通行量が多いうえ、赤間小学校の児童の通学路でもあります。過去に児童とバ



スの接触事故も発生しております。子どもの安全を守るため、この問題を何としても解決したいという地元の徳重区長をはじめ、関係者の方々の地道な活動がようやく実を結び歩道整備の一步をふみ出すことができました。

なお、構口の信号改善につきましても道路の整備状況をみながら引き続き要望していきます。

公民館活動 部会

平成十七年度は、「親善ソフトボール大会」「交流グラウンドゴルフ」「お手玉あそび大会」などを通して公民館活動の活性化を図ってきました。

赤間地区住民の活動の交流に大きく貢献してきました。十八年度も赤間コミュニティを通して楽しい行事や研修などを計画していきます。皆さんご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。



親善ソフトボール大会

青少年育成 部会

赤間なかよしサロン 十七年度より取り組んでいるサロン、年明けは一月十九日に開催。今回は二十五組の親子が参加されました。皆さんの楽しい様子はTNCテレビで放送されました。

視察研修 一月二十日、部会メンバー八名で長崎市教育委員会へ。地域ぐるみでいかにして子どもたちを守っていくかをテーマに意見交換を行いました。

CAP（子どもの虐待防止プログラム） 夏にも開催したCAPの講演は、「迷っていませんが、子どものしかり方、ほめ方」の題名で今回も子育てについて考える貴重な時間となりました。一月二十二日に開催。

「赤間っ子まつり」に参加 赤間小学校の「赤間っ子まつり」は二月二十五日に行われ、青少年育成部会も参加。百四十五杯の豚汁を販売し喜ばれました。

健康福祉 部会

健康・福祉に関する活動を地域の皆様へよりお役にたてていただくよう次のことを基本に活動してきました。

- 「目」で観る
福祉施設や他コミュニティ、センターの視察活動。
- 「耳」で聴く
講演等の学習活動。
- 「口」から学ぶ
料理実習活動。
- 「体」で感じ
そして、知る
作って遊ぶつ世代交流及び障害体験活動。

それぞれの活動で、どれだけの方々へお役に立てたかはわかりませんが、各活動におきましては、多くの皆様に例年以上ご参加いただきました。特に「認知症」をテーマにした講演会では、会場がほぼ満席になる盛況でした。十八年度は、十七年度の事業をより広く深く、実践できるものとなるよう充実させて取り組んでいきます。

環境整備 部会

地域清掃活動

昨年十月末に続き、十七年度二回目の釣川支流清掃活動（今回は富地原川）を三月四日多数の参加者のなか実施しました。十八年度も継続する予定です。**美化運動**

犬のフン害対策の一環として、フン持ち帰り立て看板の設置を決めました。犬型にくり抜いた板に、目、耳を取り付けペイントで絵付けした看板です。看板には、小学生が粘土で作り、窯で焼き上げた小ささままなかわいい力作の目玉が生かされています。

立て看板は、桜づつみ公園の赤馬橋から鍵橋間約三キロメートルに二十一箇所設置しました。

環境美化の向上のために、もフン持ち帰り運動へ皆様のご協力をお願いします。



地域づくり 部会

今年の赤間宿まつりは、二月十八日（土）十九日（日）で、昨年の寒さと違い暖かく、そのためか人出も超満員でした。勝屋酒造の酒蔵はもちろんです。通人も人で埋め尽くされました。フリーマーケット、バザー、展示や歌・踊り、もちつき大会など催しも盛りだくさん。皆様にもお楽しみいただけたいと思います。

お世話いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。



人・人・人で賑わう勝屋酒造

赤間地区コミュニティ
運営協議会



- 29日 赤間地区コミュニティ運営協議会総会
- 12日 親善ソフトボール大会(公民館活動部会)
- 17日 映画鑑賞会(青少年育成部会)
- 14日 第1回子育てサロン(青少年育成部会)
- 24日 泉川はまぼうの会視察研修(環境整備部会)



- 3日 日の里地区コミュニティ(健康福祉部会)研修交流(健康福祉部会)
- 7日 福岡市城南区长尾公民館視察研修(公民館活動部会)
- 23日 親子料理教室の開催(健康福祉部会)
- 26日 CAP大人のワークシヨップ(青少年育成部会)



- 9日 成人病予防食で交流会(健康福祉部会)
- 15日 第2回子育てサロン(青少年育成部会)
- 18日 グラウンドゴルフ大会(公民館活動部会)
- 23日 大道芸まつり(地域づくり部会・協議会)

- 13日 城山中学校文化祭出展(公民館活動部会)
- 23日 健康福祉部会・環境整備部会合同講演会
- 26日 田島地区コミュニティ運営協議会と研修交流(青少年育成部会)
- 30日 釣川支流(名残川)の清掃活動(環境整備部会)



- 17日 第3回子育てサロン(青少年育成部会)
- 26日 陸橋の落書き消し事業(青少年育成部会・環境整備部会)
- 29日 特別養護老人ホーム等視察研修(健康福祉部会)
- 11日 「認知症は病気です」講演会の開催(健康福祉部会)
- 19日 平成18年1月第4回子育てサロン(青少年育成部会)

- 20日 長崎市教育委員会視察研修(青少年育成部会)
- 22日 CAP大人のワークシヨップ(青少年育成部会)
- 26日 豊後高田市商店街視察研修(地域づくり部会)
- 19日 赤間宿まつり(地域づくり部会・協議会)
- 25日 赤間つ子まつり(青少年育成部会)

- 4日 釣川支流(富地原川)清掃活動(環境整備部会)
- 4日 大の看板設置(環境整備部会)
- 16日 第5回子育てサロン(青少年育成部会)
- 18日 障害体験教室(健康福祉部会)

その他

- 青少年育成部会 十六年度設置した不審者情報看板を随時更新
- 環境整備部会 季節に合わせて花苗を植え付け・花壇整備
- 健康福祉部会 世代交流事業で必要な道具購入・自治区の世代交流事業の支援

健康一〇メモ

キャベツ

キャベツは、もともと海岸に生えていた野生の植物。葉が開いていたのを、ローマ時代に改良されて現在のようになり、芯を巻いたものができたので、中国では巻心菜と呼ばれている。薬効としては、中の白い部分より外葉の青い部分の方が多い。また、利尿、解毒作用があるので、刻みキャベツを毎日たくさん食べると頑固な便秘にも自然に効果があらわれる。

編集後記

広報紙「話・和・輪」も今回で第七号を発行することができました。待望のコミュニティ・センターも十八年度完成予定です。今回は、コミュニティ活動のあり方、区長会から市への要望書内容の経過報告、各部会からの年間事業活動等を掲載しています。ご意見、ご感想などお気軽に事務局までお寄せください。

平成十七年度広報委員

- 平田 利之・徳重 雅一
- 宮崎 和善・中野 剛
- 片岡 龍一・立花 敏昭
- 仲尾 等・宮本 秀臣
- 清水 睦美・實田 照香